

ひったくり

岡山県笠岡市立金浦中学校 2年 ^{なか}井 ^{しほ} 栞帆



私は犯罪というものをどこか他人事のように感じていました。しかし中学二年生の夏、一つの出来事が私に犯罪というものは身近にそして誰にでも起こりうるものなんだと実感させる経験がありました。

それは姉が一人で出かける用事があった日のことです。姉以外の家族は家でのんびりと過ごしていました。そんな時、父の携帯に一本の電話がかかってきました。なんだろうと思っていると電話を受けた父の声がどンドン慌てた口調に変化していきました。何があったのか聞いてみると、

「姉がひったくりにあった。」

と言われました。私はそれを聞いた時信じられませんでした。犯罪のことをニュースなどでは聞きますが、私や私の家族に起きることはないはどこか他人事に思っていたからです。

その後、姉を迎えに行った父と母にどんな風にとられたのか聞いてみると、姉はカバンを自転車のカゴの中に入れて走行していたところ、後ろから来た自転車に乗った男の人を取られてしまったそうです。ひったくりという初めての経験にショックで声も出ず、とても怖かったそうですが、すぐに警察に通報し、状況を伝えました。さいわい、姉にケガはなかったものの大事なものが奪われてしまったことは事実でした。犯人はそのあとの捜査ですぐに見つかり、逮捕されましたが、とられたお金などは戻ってくることはありませんでした。犯人は実刑を受けず、不起訴処分になりました。姉は怖い目にあったのに犯人は初めてだからという理由でたいした罰もなく普通に生活しているということに少しの怒りとまた起きてしまったらどうしようという不安が私たちの心の中にありましたが、この事件をきっかけに防犯をするのはとても大切なことなんだと強く認識するようになりました。

その後、私はひったくりはどのくらい起こっているのか、どういう人が特に狙われやすいのか、どのように対策をすればいいのかなどをネットや本などで調べ学びました。その中で特に心の中に残ったのは、次の3つのポイントです。

- ①大勢の中にいることの安全性：人通りの少ない道などは危ないので、夜間などは特に人通りの多い場所を選んで、通行することが大切。
- ②周囲の注意を怠らないこと：「音楽を聞きながら」、「スマホを操作しながら」などの「ながら」運転や、人が多いから大丈夫など思い込みは無くして、周りの様子を見て周囲の状況に注意していくことが大切。
- ③被害にあった時の行動：もし被害にあっても、どう行動すればいい

のか知っている迅速に対処することができる。例えば自分が危険を感じたら大声で助けを呼んだり、被害にあったらすぐ通報することなどが大切。

このように、どう行動することでひったくりなどの犯罪にあいにくくなるのかを知ることができた私は前より安心して生活できるようになりました。

これからも大切なことは忘れずに自分や友達、家族を守れるように様々な防犯知識を知っていくことが大切なんだと今回の出来事で実感することができました。出かける時は学んだ防犯知識をいかして犯罪にあわないよう行動していきたいと思いました。